学校番号	414

令和２年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	Art and You 想像の世界へ						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材の評価基準）	評価方法
			a	b	C	D		
1学期	オリエンテーション	【鑑賞】 ・オリエンテーション教室の扱いや作品の鑑賞を通して美術Ⅰの学習イメージを持つ	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:作品鑑賞を通して生徒自身の感想を持って表現できているか	・学習活動の様子。 ・鑑賞シート、発言の様子。
	鉛筆の表現	【鑑賞・絵画】 ・鉛筆で表現できる色の幅を知る。 ・陰影を表現する	○	○		○	a:鉛筆の表現に関心を持ち、表現の可能性を探求できる b: 鉛筆での表現を幅広くおこなえる d: 陰影を捉え、モチーフの形を理解できる	・制作の様子 ・完成作品 ・完成作品
	色の混色・性格	【デザイン・鑑賞】 ・色の混色方法を知る ・色からイメージできるものを感じ取る			○	○	c:色の混色方法を知り、多くの混色を扱うことができる d: 色から様々なイメージを感じ取り、自分なりに表現できる	・ワークシート ・完成作品
	色彩構成	【絵画・デザイン】 ・様々な色を用いて画面を構成しメッセージ性を持たせる	○		○	○	a:様々な色の組み合わせに関心を持ち、表現方法を探究できる c: 表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:制作しているものがどのような作品なのかを文章として表現できる	・作品制作の様子 ・完成作品 ワークシート
2学期	夏休みの思い出	【絵画・鑑賞】 ・夏休みの思い出をスケッチする ・人に伝わるように絵画を制作する	○		○	○ ○	a:自分が見たものに関心を持ち、表現しようとしている c:アクリル絵の具の特性を利用し、様々な表現に挑戦しようとしている d:見たものの形を捉えることができる	・ワークシート、作品制作の様子 ・完成作品 ・完成作品
	エスキース	【鑑賞・デザイン】 ・形容詞からイメージできる「形」を描き起こしていく		○	○		b:言葉から連想される形を具体的な形を用いずに表現しようとしている c:より多く形のパターンを想像することができる	・ワークシート ・ワークシート

	彫刻	【彫刻】 ・スタイルフォームを削りだし、立体作品を制作する		○	○		b:イメージを立体的に持つことができる c：イメージを立体的に表現することができる	・作品制作の様子 ・完成作品
	立体キャラクターデザイン	【彫刻・デザイン】 ・「キャラクターとはなにか」を探りながら、キャラクターを制作する。 ・粘土を用いて立体作品として仕上げる。	○	○	○		a:キャラクターの意味や目的を知り、制作に活用しようとすることができる。 b:様々な方向から見ても成り立つように構想を練ることができる c:自立し、愛着を持てるようなデザインの立体作品を制作することができる	・制作の様子 ・ワークシート、アイデアスケッチ ・完成作品
	大灯篭	【工芸】 ・班に分かれて表現するテーマを決定し、それに準じた作品を制作する。 ・切絵を制作し画面を構成していく	○	○		○	a:グループで協力し、作品の完成を目指すことができる b:テーマにあったモチーフを制作できる d:グループの作品を見て、画面の構成を考えていくことができる	・ミーティングの様子 ・作品制作の様子 ・完成作品
3学期	モノクロイラスト	【デザイン】 ・イラストと絵画の違いを探りながら下絵を制作する。 ・鉛筆の黒と紙の白のみで作品を制作する	○	○	○		a:「イラストと絵画」の違いに関心を持ち、イラストの制作をすることができる b:生徒自身でテーマを決め、テーマにあったモチーフを選択し、画面を構成していくことができる。 ｃ：白と黒のみで画面を構成し、自身が決定したテーマを表現できている	・アイデアスケッチ、作品制作の様子 ・完成作品 ・完成作品
	鑑賞レポート	【鑑賞】 ・作品を鑑賞し、自分なりの感想を表現できる。				○	ｄ：作品を観察し自分なりの解釈をもって文章として表現できている。	・レポート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。